感 染 症 の 登 所 基 準

※ 医師による登所許可書が必要

	病名	潜伏期間	感染様式	主な症状	登園基準
1	百日咳	7～10日	飛沫	発作性咳の長期反復、持続	特有の咳が消失したとき
2	はしか（麻疹）	8～12日	飛沫 空気 接触	高熱、咳、鼻水、結膜充血 目やに、コプリック班	発疹に伴う熱が下がった後、 3日を経過し元気が良いとき
3	おたふくかぜ （流行性耳下腺炎）	16～18日	飛沫	発熱、耳下腺、舌下腺、 顎下腺の腫腸及び疼痛	腫れが出た後5日経過し、 耳下腺の腫脹が消失してから
4	風　　疹	16～18日	飛沫 接触	種々の発疹、発熱、悪寒 リンパ腺腫大、眼球結膜充血	発疹が消失したとき
5	水ぼうそう（水痘）	14～16日	飛沫 空気	軽熱、被覆部に発疹、斑点丘疹状 →水疱→顆粒状痂皮	すべての発疹が痂皮化（かさぶた）になったとき
6	咽頭結膜熱 （プール熱）	2～14日	飛沫 接触	高熱、扁桃腺炎、結膜炎	解熱し、主要症状が消退した後、2日を経過してから
7	アデノウイルス 咽頭炎、扁桃炎	5～7日	接触 飛沫	発熱、咽頭痛、咳、など	主な症状が消失し、 2日間経過後
8	結核	3ヵ月～ 数10年	空気	慢性的な発熱、咳、疲れやすさ 食欲不振、顔色が悪い	医師により感染の恐れがないと認められた場合
9	溶連菌感染症	2～5日	飛沫 接触	発熱、咽頭痛、扁桃炎、苺舌、 リンパ節炎、全身に発疹、中耳炎	抗生物質内服後24時間経過し 全身状態が良好
10	腸管出血性大腸菌 感染症	10時間 ～6日	経口 接触	腹痛、水様性下痢、血便 急性期症状（下痢、発熱、嘔吐）	菌が消失してから（ベロ毒素） 急性期症状が消退してから
11	感染性胃腸炎 （ノロ、ロタ等）	1～3日	経口 飛沫 接触	発熱、下痢、嘔吐	普通の食事が可能になり、 全身状態が良好
12	流行性角結膜炎	2～14日	飛沫 接触	軽熱、頭痛、全身倦怠、結膜の炎症、 眼瞼浮腫、目やに	結膜充血・眼脂などの症状が消退してから
13	マイコプラズマ肺炎 （うつる肺炎）	2～3週	飛沫	咳、発熱、頭痛 呼吸困難（重症の場合）	解熱し、激しい咳が治まり、 全身状態が良好
14	RSウイルス感染症 （1歳未満と重症のみ）	4～6日	飛沫 接触	咳、発熱、鼻水、喘鳴 呼吸困難	呼吸器症状が消失し 全身状態が良好
15	ヒトメタニューモ 感染症	4～6日	飛沫 接触	咳、発熱、鼻水、喘鳴 呼吸困難（重症の場合）	解熱し、激しい咳がおさまり 全身状態が良好
16	帯状疱疹	不定		軽度の痛み、違和感、かゆみ 多数の水疱が集まり紅斑	すべての発疹が痂皮化（かさぶた）になったとき

※ 登所届書が必要（医師の診断を受け、保護者が記入）　★ 解熱後24時間は体調変化に注意が必要

1	手足口病	3～6日	飛沫 接触 経口	口腔粘膜と手足、おしりに 水疱性発疹、発熱、咽頭痛	発熱が無く全身状態が良好で 普通の食事が可能なら登所可能
2	ヘルパンギーナ	3～6日	飛沫 接触 経口	高熱、咽頭痛、咽頭に水疱	発熱が無く全身状態が良好で 普通の食事が可能なら登所可能

※ 登所許可書を必要としない（全身状況がよければ登所可能）　★ 解熱後24時間は体調変化に注意が必要

1	インフルエンザ コロナ感染症	1～4日	飛沫 接触	発熱、全身倦怠、筋肉痛 咽頭痛、咳、鼻汁、食欲不振	発症後5日を経過しかつ解熱後 3日を経過し元気が良いとき
2	りんご病（伝染性紅班）	4～14日	飛沫	発熱、倦怠感、頭痛 両側頬部に紅斑性発疹	発疹が出現してからは感染力はないので、元気がよければ登所可能
3	水いぼ（伝染性軟属腫）	2～7週	接触	球状のいぼ	病巣を衣類、耐水性絆創膏、包帯等で覆う
4	とびひ （伝染性濃痂疹）	2～10日	接触	水疱、かさぶた （引っかくことで隣接する皮膚や離れた皮膚に新たに病変が生じる）	他の幼児に感染の可能性がある場合は病巣を覆う。覆うことができない場合は登所を控える
5	突発性発疹	9～10日	標準	3日間程度の高熱の後、解熱するとともに紅斑	解熱し機嫌がよく全身状態が良ければ登所可能

※ 登所許可書・登所届書用紙は保育所にあります。ホームページから印刷もできます。